

蕾切りでダリア切り花の輸出に係る輸送経費を削減できる

福島県農業総合センター 作物園芸部 花き科

1 部門名

花き－ダリア－流通

2 担当者名

熊坂 京

3 要旨

ダリアの切り花は海外での需要が高まっているが、輸出においては輸送コストが大きい。また、ダリアは開花してから収穫し出荷すると輸送中に花卉が傷みやすいが、蕾の状態でお荷することで傷みを軽減できることが分かっている。そこで、通常切りと蕾切りの輸出に係る経費を試算した結果、蕾切りが通常切りの倍の本数を梱包でき、1本当たりの輸送経費を抑えられることが明らかになった。

- (1) 1箱を中国北京市内へ輸送した場合の運送費は約26,200円、1箱当たり20束を梱包した場合の資材費は約2,306円となり、総額28,506円となった(表1)。
- (2) 「黒蝶」を用い、通常切りを5本/束、蕾切りを10本/束にまとめ、箱内左右5束ずつの2段重ねで梱包した場合、箱入り本数は通常切りで100本、蕾切りで200本となった(図1)。
- (3) 1本当たりの輸送経費は通常切りが285円、蕾切りが143円であった(表1)。

表1 「黒蝶」の各切り前の1件当たりの経費試算

切り前	束あたり (本)	入り本数 (本/箱)	運送費 ¹⁾ (円)	資材費 ²⁾ (円)	輸送経費 (円/本)
通常切り	5	100	26,200	2,306	285
蕾切り	10	200			143

1) (株) FLOWER KING 間取り額を参考。1箱を輸出した場合の費用。

2) (株) FLOWER KING の間取り額を参考。1箱当たり20束を梱包した場合の費用。

※調査方法は、農業総合センターで栽培したダリアを(株) FLOWER KING に持込み、実際の梱包作業を調査した。輸送場所は中国北京市内を想定した。

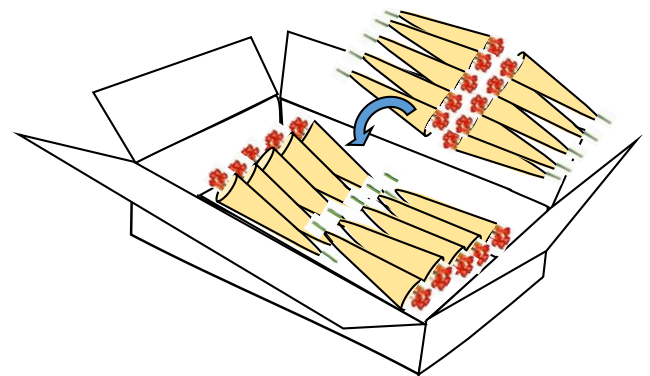


図1 梱包のイメージ

※左右5束ずつの2段重ねで梱包。

※箱は130cm×40cm×24cmの横箱段ボールを用いた。

※長さは60cmに揃えた。束はスリーブ及び包装紙で包装し、切り口には保水剤を装着した。

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3～5年度
- (2) 研究課題名 園芸グローバル産地育成強化事業

5 主な参考文献・資料

- (1) 「蕾切りダリアは通常切りとほぼ同等の日持ちを確保できる」(参考となる成果整理表 福島県農業総合センター)